

# 安心・活力・発展プラン2015の進捗状況について

## 1 全体状況

### 2 R2年度の目標値に対する達成度

- (1) 政策別レーダーチャート
- (2) 施策別レーダーチャート(安心)
- (3) // (活力)
- (4) // (発展)

### 3 最終年度(R6)の目標値に対する達成度

- (1) 政策別レーダーチャート
- (2) 施策別レーダーチャート(安心)
- (3) // (活力)
- (4) // (発展)

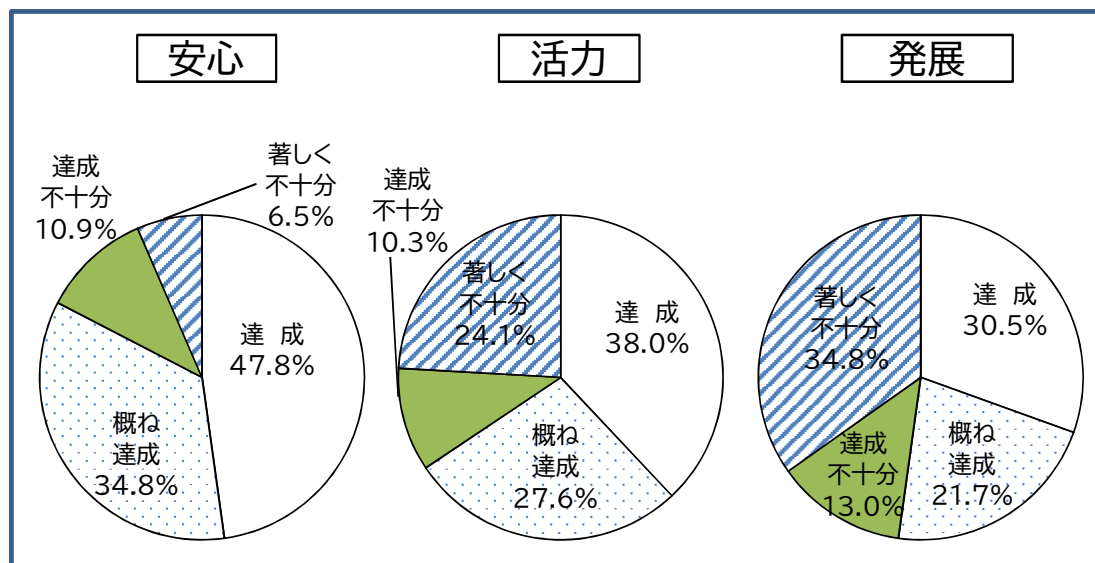
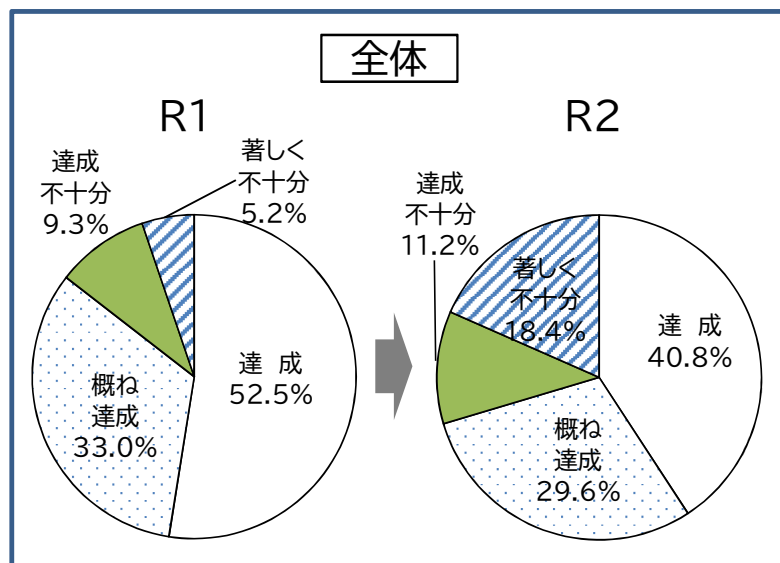
# 1 全体状況

施策毎に設定した目標指標の進捗状況(R2年度)については、以下のとおりであり、「達成」及び「概ね達成」は全体の70.4%(昨年85.5%に対し▲15.1)となった。

※全99指標のうち、R2年度目標値の設定のない1指標を除く

| 区 分     | 達 成<br>(達成率100%以上) | 概ね達成<br>(達成率100%未満<br>~90%以上) | 達成不十分<br>(達成率90%未満<br>~80%以上) | 著しく不十分<br>(達成率80%未満) | 合 計           |
|---------|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------|---------------|
| 2年度進捗状況 | 40 ( 40.8% )       | 29 ( 29.6% )                  | 11 ( 11.2% )                  | 18 ( 18.4% )         | 98 ( 100.0% ) |
|         | 69 ( 70.4% )       |                               | 29 ( 29.6% )                  |                      |               |

| 分野別 | 安 心 | 22 ( 47.8% ) | 16 ( 34.8% ) | 5 ( 10.9% ) | 3 ( 6.5% )  | 46 ( 100.0% ) |
|-----|-----|--------------|--------------|-------------|-------------|---------------|
|     | 活 力 | 11 ( 38.0% ) | 8 ( 27.6% )  | 3 ( 10.3% ) | 7 ( 24.1% ) | 29 ( 100.0% ) |
|     | 発 展 | 7 ( 30.5% )  | 5 ( 21.7% )  | 3 ( 13.0% ) | 8 ( 34.8% ) | 23 ( 100.0% ) |

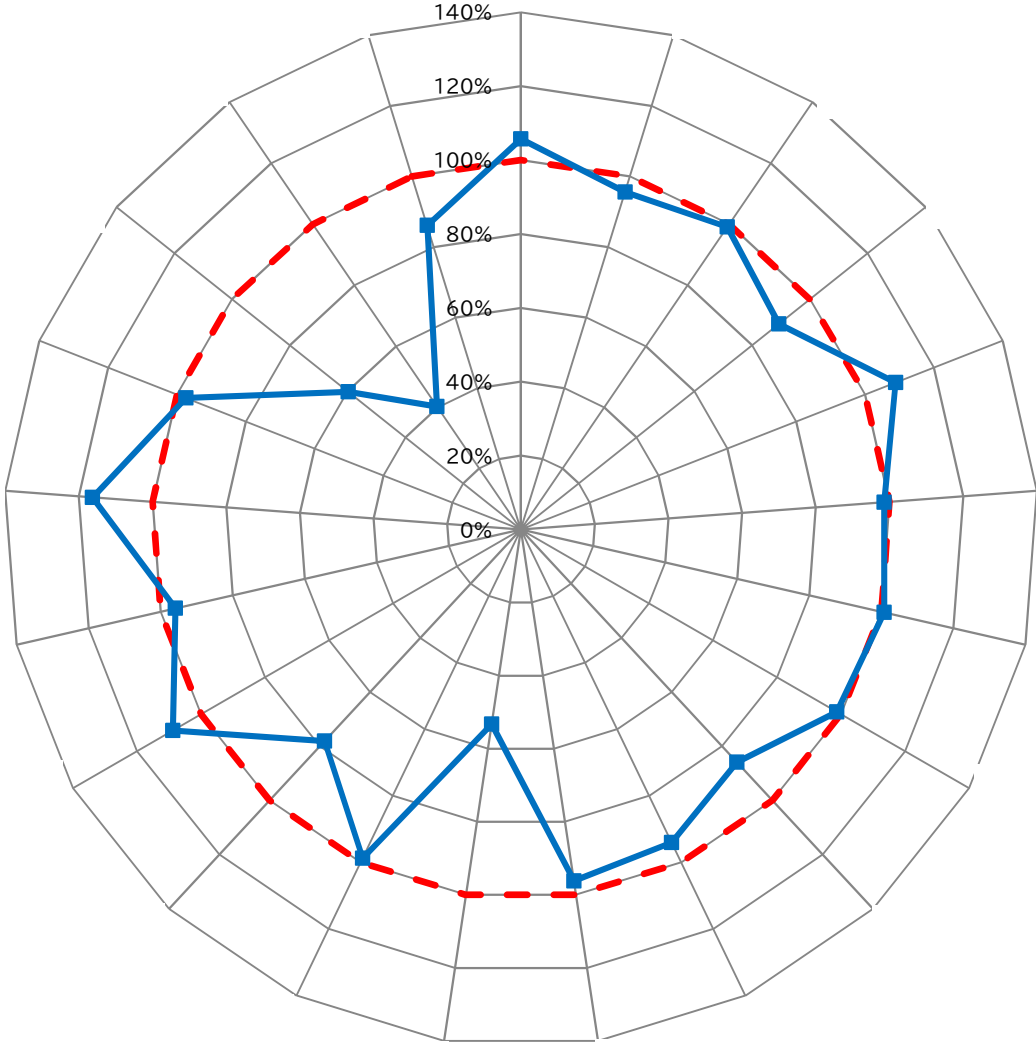


2-(1) R2年度の目標値に対する達成度(全体)

21政策

発展  
(4政策)

安心  
(9政策)

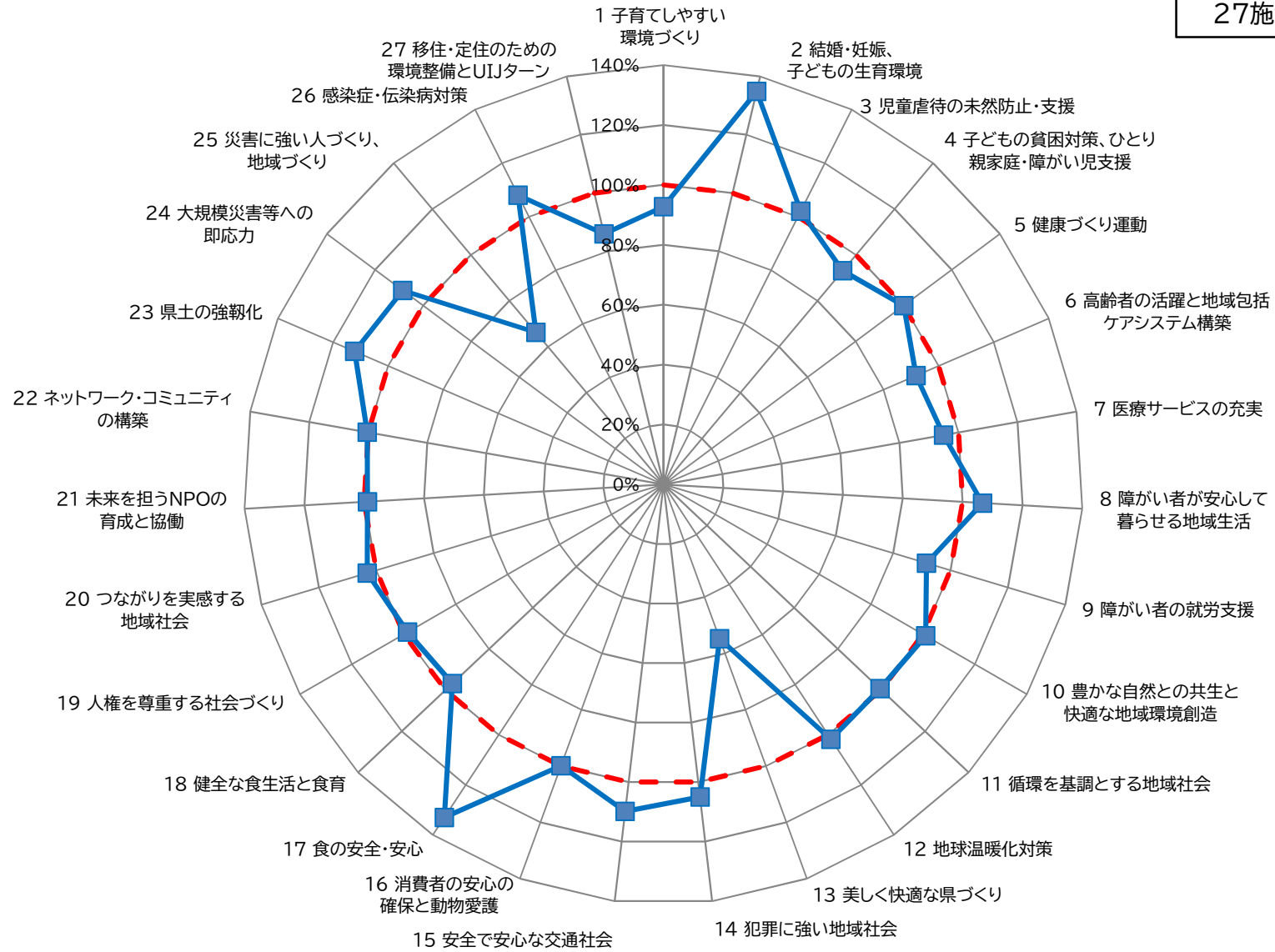


活力  
(8政策)

達成度については、各政策を構成する施策ごとに設定した指標の平均達成度

2-(2) R2年度の目標値に対する達成度(安心)

27施策



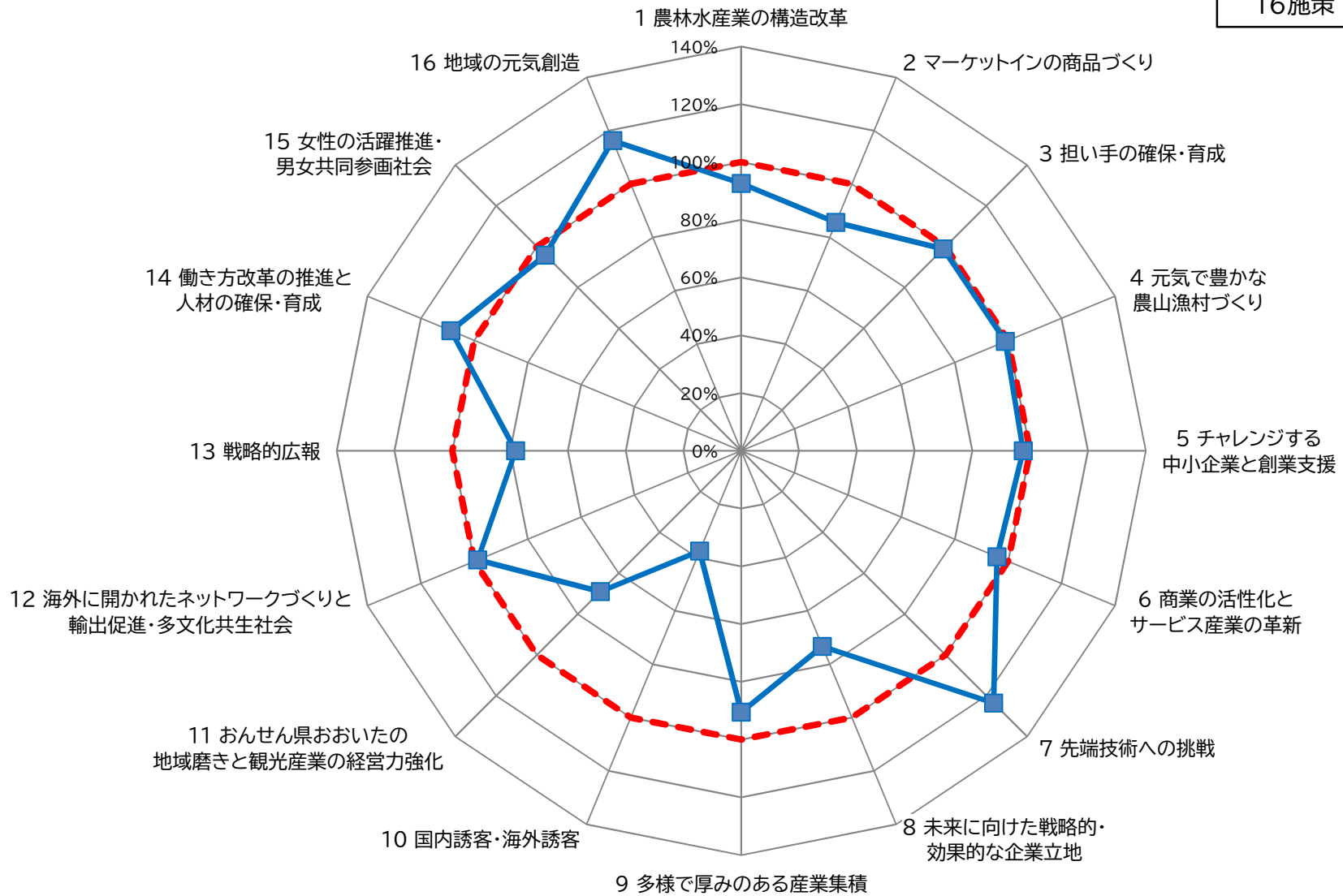
2-(2) R2年度の目標値に対する達成度(安心)

【90%未満指標】

| 施策番号 | 施策名                           | 指標名                                   | 目標値     | 実績値     | 達成度   | 要因   | 向上策   |
|------|-------------------------------|---------------------------------------|---------|---------|-------|--|---|
| 1    | 子育てしやすい環境づくりの推進               | 男性の育児休業取得率(%)                         | 13      | 9.9     | 76.2% | ・育児休業も含めた特別休暇制度を創設など、各企業における独自の取組もあり意識改革も図られ、育児取得率も向上してきているが、目標値を達成することができなかった。                        | ・子育て中の父親や企業経営者を対象としたセミナー等による男性の子育て参画を通じ、社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図っていく。<br>・先進的な中小企業の取組内容や制度の改正により男性が育児を取得しやすくなったことを周知することで企業の取組を促進する。  |
| 4    | 子どもの貧困対策やひとり親家庭・障がい児へのきめ細かな支援 | 母子家庭等自立支援給付金を利用して資格取得のために修学した人の就職率(%) | 100     | 87.9    | 87.9% | ・看護師としての就労を考えていたが、コロナ禍の不安から医療機関への就職を見送ったため。また、希望する就職条件に合致する求人がなく、就職に至らなかったため。                          | ・コロナ禍の就職不安など個々の悩みに丁寧に寄り添ったサポートを行う。また、就業支援員が個別に企業訪問を行い、求人登録の拡大を図る。   |
| 6    | 高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築          | 65歳以上のボランティア活動参加者数(人)                 | 20,400  | 17,570  | 86.1% | ・高齢者の社会参加に資する各種研修や講座については計画どおり開催することができたものの、コロナ禍によるボランティア活動の自粛や機会減少等があったため。                            | ・大分県老人クラブ連合会、大分県社会福祉協議会等の各機関と連携し、社会参加を望む高齢者のニーズに合わせた研修等を行う。   |
| 9    | 障がい者の就労支援                     | 障がい者雇用率の全国順位(位)                       | 1       | 7       | 87.2% | ・定年や高齢に伴う機能低下による退職、A型事業所から県外企業への一般就職 等   | ・企業への戦略的働きかけ・サポートを行う「障がい者雇用推進チーム」の新設<br>・障がい者雇用アドバイザーによる計画的な採用に向けた企業フォローの強化<br>・身体障がい者の定年退職等に対する知的・精神障がい者での補充支援の強化<br>・法定雇用率未達成企業と障がい者のオンライン面接会の開催 等  |
| 13   | すべての主体が参加する美しく快適な県づくり         | 県民一斉おおいとうつくし大行動参加者数(人)                | 384,000 | 210,265 | 54.8% | ・新型コロナウイルスの影響により、例年通りの集団で行う活動ができなかったため。  | ・おおいとうつくし推進隊に対してコロナ禍においても安心して活動ができる方法を周知するとともに、アプリやSNSを活用した啓発やイベントの実施など、多様なスタイルでの活動促進を行う。   |
| 15   | 人に優しい安全で安心な交通社会の実現            | 交通事故死者数(人以下)                          | 38      | 43      | 86.8% | ・死亡事故発生の要因として、運転者や歩行者のルール違反やマナー不足等が挙げられる。また、本県の高齢化率の高さを背景に、高齢運転者の事故や道路横断中の高齢者の事故が高い割合を占めている。           | ・交通ルールの遵守と交通マナー向上を図るため、交通事故抑止に資する交通指導取締りを実施し、関係機関・団体と連携した広報啓発活動を推進する。<br>・高齢者対策として、関係機関・団体との連携による免許自主返納支援活動及び安全運転サポート車の普及促進し、交通事故を繰り返す高齢運転者及び高齢歩行者に対する安全指導を行う。  |
| 25   | 災害に強い人づくり、地域づくりの推進            | 自主防災組織避難訓練等実施率(%)                     | 90      | 43.8    | 48.7% | ・新型コロナウイルスの影響により、訓練等の中止が相次いだため。  | ・市町村と連携し、防災士の養成や避難訓練等の促進<br>・避難訓練や避難所運営など、地域の防災活動をコーディネートできる防災士の育成<br>・個人や世帯単位を対象とした啓発のため、動画やCMを制作・放映   |
|      |                               | 自主防災組織避難訓練等実施率(津波浸水想定区域)(%)           | 100     | 55.7    | 55.7% |  |   |
| 27   | 移住・定住のための環境整備とUIJ ターンの促進      | 移住促進策による移住者数(人)                       | 1,900   | 1,633   | 85.9% | ・オンライン移住ツアー等の実施により、移住促進策による移住者数は前年度比で238人改善したが、新型コロナの感染拡大により、企業説明会や個別相談会等のイベントが中止となったことから、目標が達成できなかった。 | ・福岡の学生には、1、2年生の早期から「dot.」を拠点にしてキャリア相談や企業への取次ぎを行い、県内企業との接点を創出<br>・県外の大学生等及びUIJターン就職希望者には、オンラインによる企業情報発信や合同企業説明会の開催、個別相談の実施など、多様な形での企業とのマッチング機会を提供<br>・移住ツアーや相談会など、移住イベントのオンライン化<br>・IT技術習得と就職・移住支援を一体的に実施する「スキルアップ移住」の推進や、お試し移住施設の利用促進など、人の集合を伴わない移住促進策の推進 |

2-(3) R2年度の目標値に対する達成度(活力)

16施策



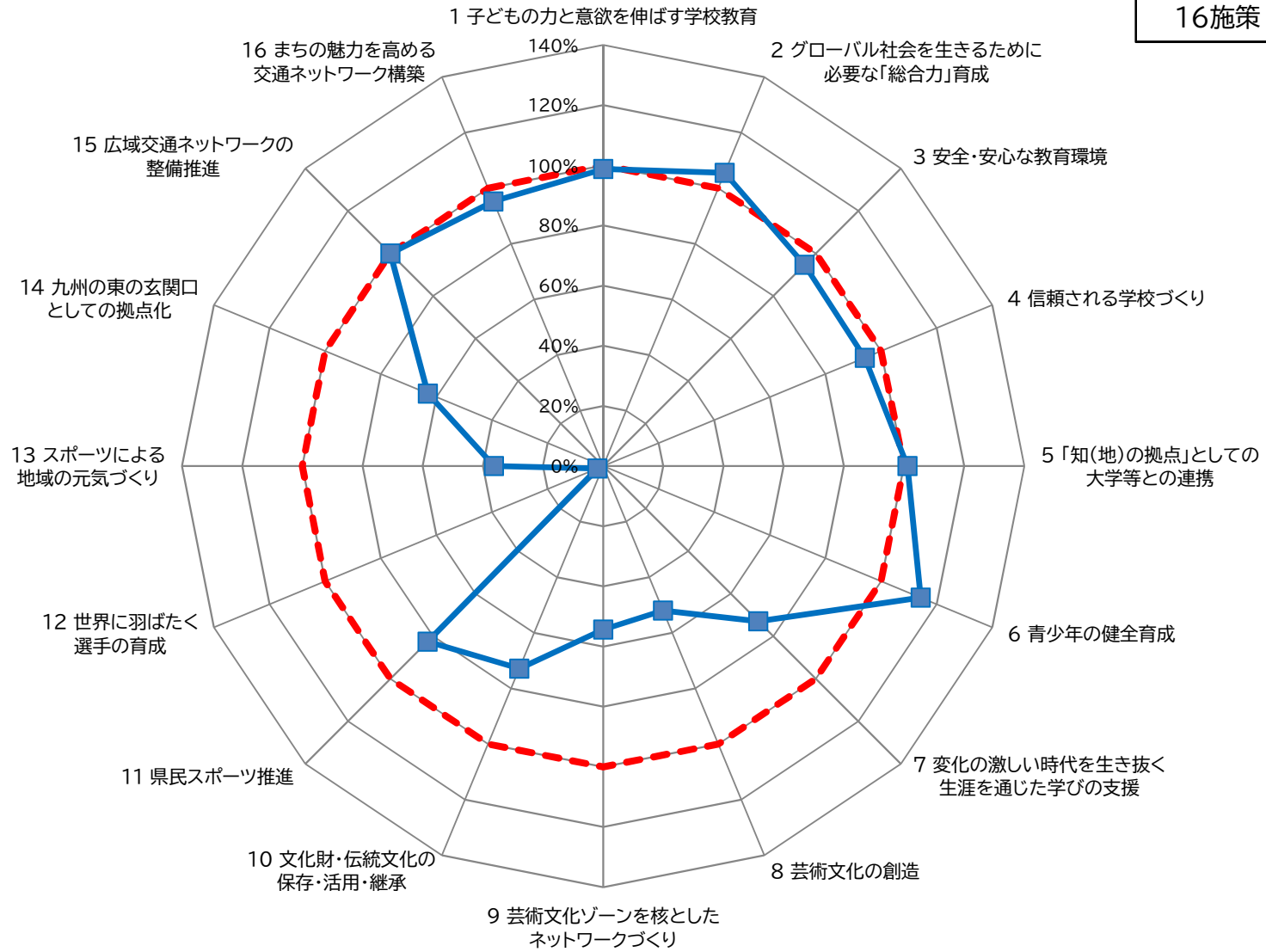
## 2-(3) R2年度の目標値に対する達成度(活力)

### 【90%未満指標】

| 施策番号 | 施策名                       | 指標名                           | 目標値    | 実績値    | 達成度   | 要因  | 向上策   |
|------|---------------------------|-------------------------------|--------|--------|-------|---|---|
| 2    | マーケットインの商品づくりの加速          | 農林水産物輸出額(億円)                  | 37.6   | 28.9   | 76.9% | ・コロナ禍による現地外食需要の減少により、米国や欧州向けの養殖ブリ、養殖クロマグロ等の輸出が低調であったが、米国での牛肉の新たな取引開始や、木材需要が旺盛な中国への丸太・製材品の取引拡大により、輸出額は5年連続の増加、過去最高額となった。 | ・コロナ禍からの商流回復に向けた米国向け販促強化に加えて、輸出相手国や品目の拡大等の新規販路開拓対策等に取り組む。<br>・また、輸出産地として公表されたかんしょ、牛肉、養殖ブリ、製材品などについて、相手国のニーズに対応した産地づくりを進める。                |
| 5    | チャレンジする中小企業と創業の支援         | 経営革新承認件数(件)                   | 120    | 98     | 81.7% | ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う中小企業の設備投資控えなど、県内企業における新規事業実施の意欲減退  | ・商工会議所、商工会、大分県産業創造機構等、認定支援機関に対する協力依頼を継続して行なうとともに、メルマガ等で補助金や経営に役立つ情報を提供することで、事業者の新規事業実施の意欲を高める。また、補助金等を所管する部内各課と情報共有し、見込企業に申請を促し、案件提出に繋げる。 |
| 8    | 未来に向けた戦略的・効果的な企業立地の推進     | 企業誘致件数(件)                     | 45     | 33     | 73.3% | ・新型コロナウイルスの影響に伴う企業の設備投資意欲減退による企業誘致件数の減少   | ・新しい働き方に対応する分野の企業誘致促進<br>・女性の働きやすい企業など、視野を広げ多様な業種や条件不利地域などへの働きかけ  |
| 9    | 多様で厚みのある産業集積の深化           | 医療機器製造業登録事業所・製造販売許可事業者数(件・累計) | 33     | 28     | 84.8% | ・受注がなかったことによる製造業登録事業所登録の廃止や、コロナ禍における事業活動の停滞などを背景に新規登録がなかったため。   | ・大分大学や、医療・福祉従事者等との連携を支援するとともに、医療機器等販売ディーラーとの交流を通じて市場を見据えた機器開発・販路拡大の支援を行っていく。  |
| 10   | 国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速   | 県内宿泊客数(千人)                    | 7,510  | 4,860  | 64.7% | ・新型コロナウイルスの感染防止対策による移動制限により目標値を達成することができなかった。   | ・旅行需要の多様化に対応し、首都圏などの富裕層、リピーターとなる近隣県等をターゲットとし、それぞれのニーズに応じた誘客対策を推進する。   |
|      |                           | 外国人宿泊客数(千人)                   | 1,550  | 162    | 10.5% | ・新型コロナウイルスの感染防止対策による移動制限により目標値を達成することができなかった。   | ・新型コロナウイルス収束後には、東アジアや欧米大洋州、ASEAN諸国等への誘客の多角化を図り、国・地域ごとのニーズに応じた情報発信や誘客対策を推進する。  |
| 11   | おんせん県おおいたの地域磨きと観光産業の経営力強化 | 観光入込客数(千人)                    | 20,400 | 16,453 | 80.7% | ・新型コロナウイルスの感染防止対策による移動制限により目標値を達成することができなかった。   | ・経営力強化に取り組む宿泊業者を支援するほか、魅力的な観光サービスの開発等の受入態勢の整備を推進する。   |
|      |                           | 観光消費額(億円)                     | 2,448  | 1,401  | 57.2% | ・新型コロナウイルスの感染防止対策による移動制限により目標値を達成することができなかった。   | ・魅力的な観光サービスの開発による観光客の滞在時間の延伸や、観光案内所連携による県内周遊の促進を通じて観光消費の拡大を図る。  |
| 13   | 戦略的広報の推進                  | 地域ブランド調査(魅力度ランキング)(位)         | 16     | 23     | 78.1% | ・20代～30代といった女性若年層に大分県の情報が届いていない。  | ・県外の女性をターゲットにした情報発信<br>・若年層が情報収集として活用するSNSに重点をおいた情報発信<br>・魅力度と相関性の高い観光や居住の本県の強みをPR  |
| 15   | 女性の活躍推進と男女共同参画社会の構築       | 雇用者のうち管理的職業従事者に占める女性の割合(%)    | 15.5   | 11.4   | 73.5% | ・業界別に存在する女性活躍を妨げる課題の未解消<br>・固定的性別役割分担意識の根強い存在   | ・採用・環境整備、育成・登用など業界ごとの課題に対応したきめ細かな支援<br>・家庭及び職場での固定的性別役割分担意識解消の取組と身近なロールモデルの情報発信   |

2-(4) R2年度の目標値に対する達成度(発展)

16施策





## 2-(4) R2年度の目標値に対する達成度(発展)

### 【90%未満指標】

| 施策番号 | 施策名                      | 指標名                                  | 目標値    | 実績値    | 達成度   | 要因  | 向上策  |
|------|--------------------------|--------------------------------------|--------|--------|-------|---|--|
| 3    | 安全・安心な教育環境の確保            | 不登校児童生徒の出現率の全国との比(小・中学校)(%以下)        | 100    | 110.6  | 89.4% | ・R1年度の不登校等調査では、家庭環境の変化等により、「無気力」や「不安」等の要因が増加した。 | ・スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを増員するとともに、別室登校のための登校支援員を新たに配置する。   |
| 7    | 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援 | 公立図書館の利用者数(万人)                       | 265    | 131    | 49.4% | ・新型コロナウイルスの影響により、休館や開館時間の短縮など利用制限を行った。          | ・新型コロナウイルス対策として、宅配貸出や電子書籍などの非来館サービスを進めるとともに、安心して来館できるよう一層の感染防止対策を講じる。  |
| 8    | 芸術文化の創造                  | 県立美術館入場者数(万人)                        | 50     | 26     | 52.0% | ・新型コロナウイルスの影響による休館及び利用者減少                       | ・感染症対策を行いつつ、多様なジャンルに挑戦する企画展と集客力のある企画展をバランスよく実施   |
| 9    | 芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり    | 子どもたちが芸術文化に触れる機会(人)                  | 12,750 | 6,931  | 54.4% | ・新型コロナウイルスの影響による中止及び参加者減少                       | ・文化体験講座の参加対象を拡大する。   |
| 10   | 文化財・伝統文化の保存・活用・継承        | 県立歴史博物館・県立先哲史料館・県立埋蔵文化財センターの利用者数(万人) | 12.9   | 9.4    | 72.9% | ・新型コロナウイルスの影響により、休館や開館時間の短縮など利用制限を行った。          | ・新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、魅力あるイベントの開催や広報活動に努める。  |
| 11   | 県民スポーツの推進                | 成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)                  | 52.6   | 45.9   | 87.3% | ・新型コロナウイルスの影響により、活動が制限された。                      | ・総合型地域スポーツクラブにおいて、Webプログラムの配信等により、新たなスポーツ環境を創出するとともに、地域に特性を活かしたシンボリックプログラム等を通じ、魅力ある運動プログラムを提供する。                   |
|      |                          | 総合型地域スポーツクラブの会員数(万人)                 | 1.85   | 1.44   | 77.8% |   |  |
| 12   | 世界に羽ばたく選手の育成             | 国際大会出場者数(人)                          | 48     | 1      | 2.1%  | ・新型コロナウイルスの影響により、国際大会が中止となった。                   | ・優秀選手の競技環境の確保を目指した就職支援の強化や、優れた資質を有するジュニア選手の発掘育成の強化により、世界に通じる優秀選手(県選抜選手)の重点的・継続的な競技力の向上を推進する。                       |
| 13   | スポーツによる地域の元気づくり          | 合宿等受入人数(人)                           | 66,000 | 23,980 | 36.3% | ・新型コロナウイルスの影響による参加者減少                           | ・プロ、実業団、大学等の日本トップチームの合宿を積極的に誘致することにより、西日本有数の合宿地として知名度を上げ、スポーツ合宿の裾野を広げる。  |
| 14   | 九州の東の玄関口としての拠点化          | フェリー・航空輸送人員(千人)                      | 3,770  | 1,365  | 36.2% | ・新型コロナウイルスの影響による需要の低迷                           | ・感染収束の状況を注視し、航空・フェリー会社と連携した利用促進策を実施  |
|      |                          | 県内港湾の公共埠頭取扱貨物量(千フレート・トン)             | 42,600 | 38,307 | 89.9% | ・新型コロナウイルスの影響により、移動が制限され、フェリーの利用が減少したため。        | ・公共交通活性化促進事業など(フェリー船内の売店で使用できるクーポン付与、広告支援等)を活用し、フェリー利用者の回復を図るとともに、物流については、利用転換助成などインセンティブを活用しながら官民一体となったポートセールスを強化 |

3-(1) R6年度の目標値に対する達成度(全体)

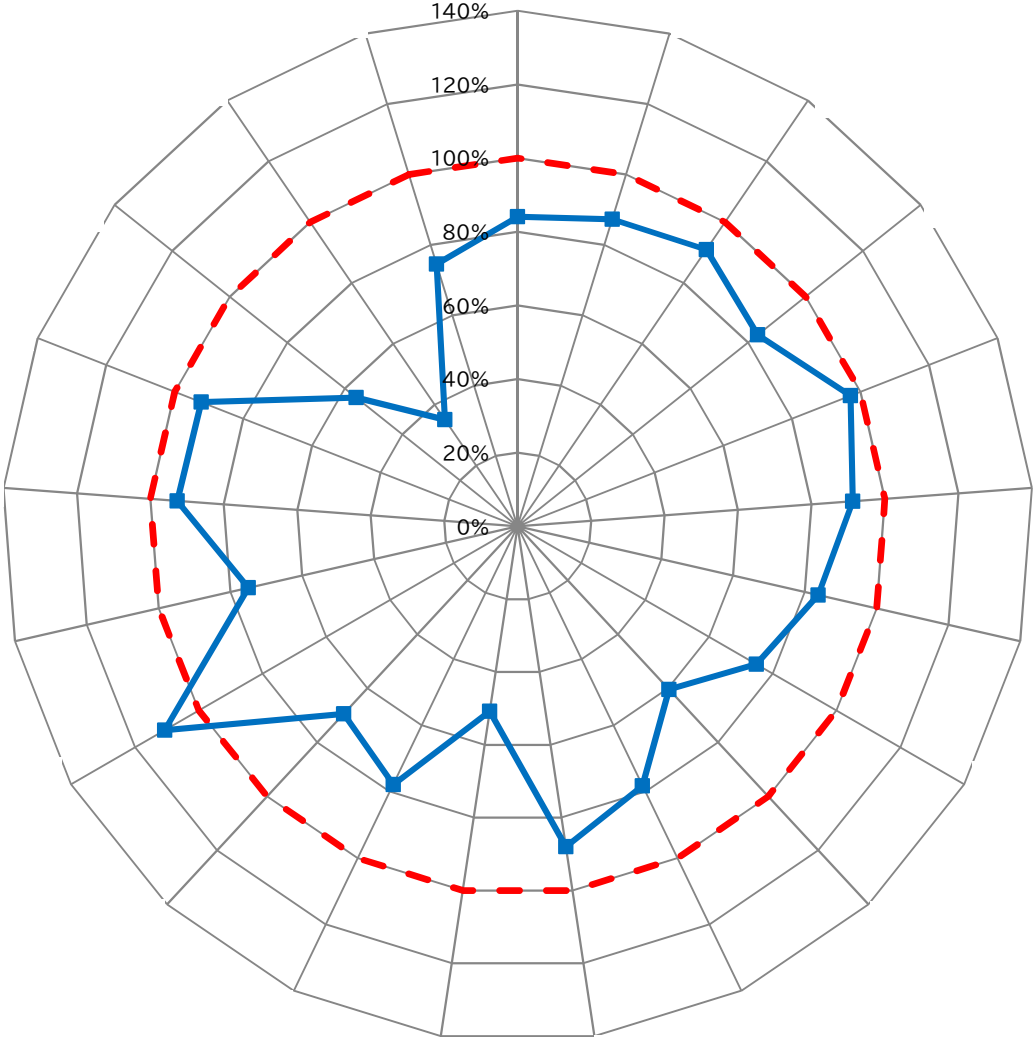
21政策

発展

(4政策)

安心

(9政策)

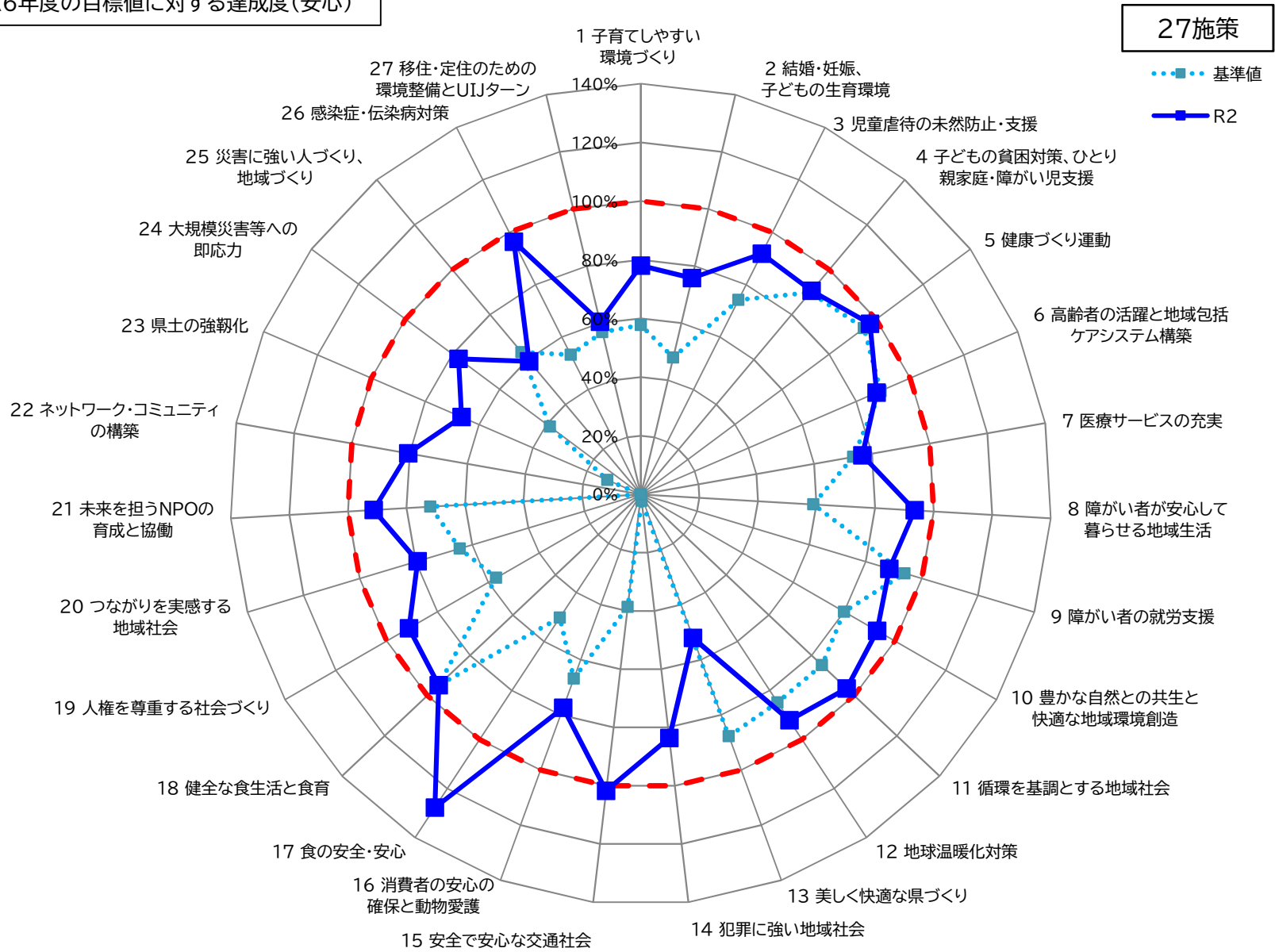


活力

(8政策)

達成度については、各政策を構成する施策ごとに設定した指標の平均達成度

3-(2) R6年度の目標値に対する達成度(安心)

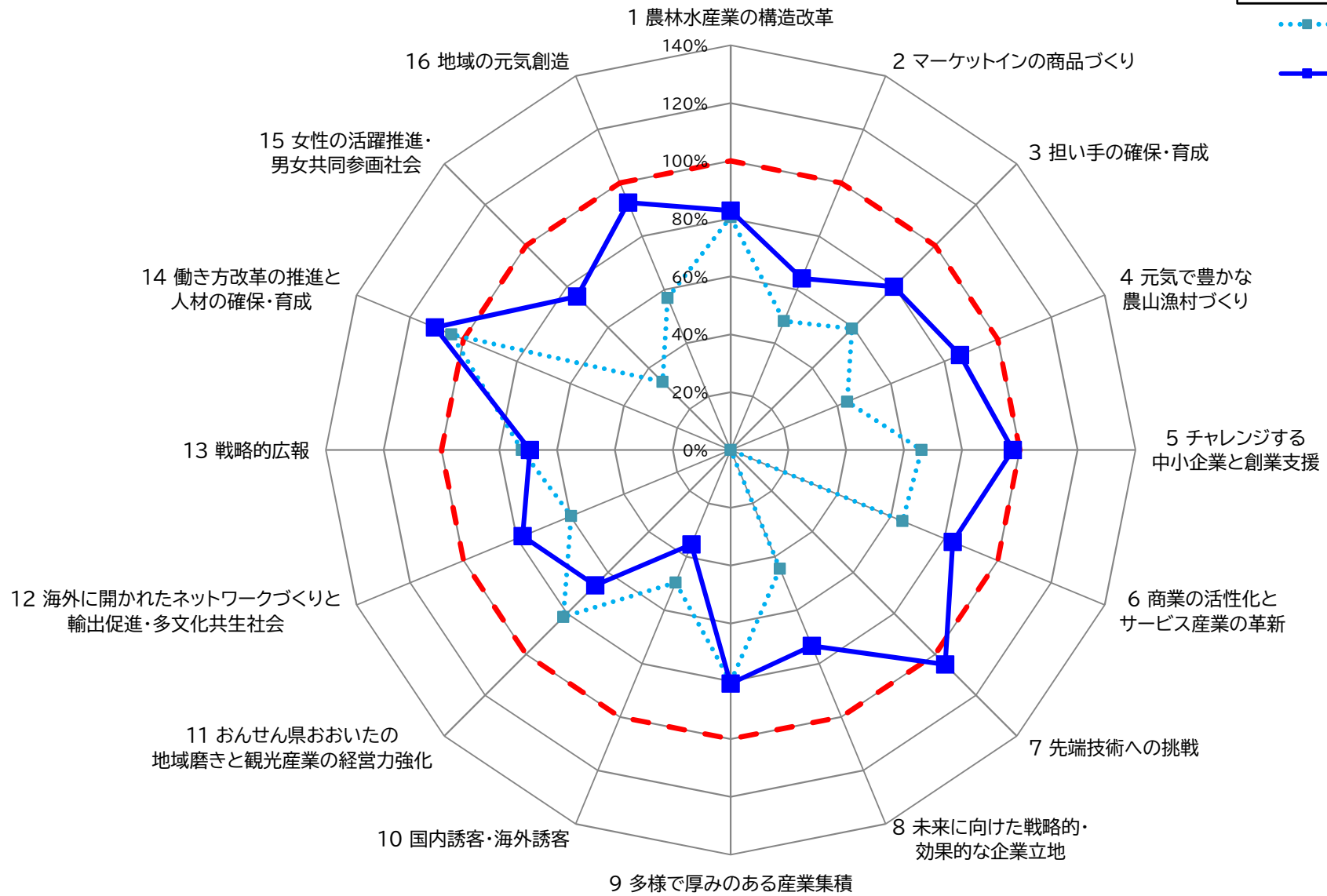


3-(3) R6年度の目標値に対する達成度(活力)

16施策

●●●● 基準値

■— R2



3-(4) R6年度の目標値に対する達成度(発展)

